

代々木プレイス

名称:代々木プレイス
 所在地:東京都渋谷区
 施工:(株)浅沼組
 設計:(株)浅沼組東京本店一級建築士事務所
 事業者:東急不動産株式会社
 竣工:2007年3月
 建物構造:鉄骨造 地上10階
 延床面積:4,464.4m²



建物外観(代々木プレイス)

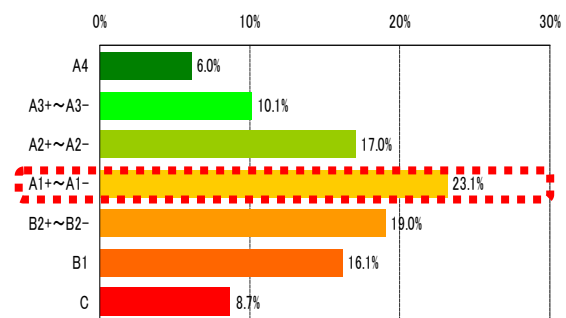
CO₂排出実績

平成 24年度 248t

床面積あたりのCO₂排出原単位

(248t/4,464.4m²) × 1,000

= **55.5kg-CO₂/m²**



テナントビル(オフィス系、中規模)のベンチマーク(2012年度実績版)

※(延床面積 3,000m²以上、10,000m²未満)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	32.9	以下	46	6.0%	5530
A3 +	0.55超-0.60以下	32.9	超	19	10.1%	4823
A3	0.60超-0.65以下	35.9	超	28		5718
A3 -	0.65超-0.70以下	38.9	超	30		5657
A2 +	0.70超-0.75以下	41.8	超	36	17.0%	5117
A2	0.75超-0.80以下	44.8	超	50		6048
A2 -	0.80超-0.85以下	47.8	超	44		5242
A1 +	0.85超-0.90以下	50.8	超	69	23.1%	5424
A1	0.90超-0.95以下	53.8	超	62		5855
A1 -	0.95超-1.00以下	56.8	超	45		5195
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 59.7	超	55	19.0%	5864
B2	1.05超-1.10以下	62.7	超	54		5822
B2 -	1.10超-1.15以下	65.7	超	36		6088
B1	1.15超-1.50以下	68.7	超	123	16.1%	5519
C	1.50超	89.6	超	66	8.7%	5853
合計				763	平均	5616

CO₂排出原単位55.5kg-CO₂/m²は、都のテナントビル(オフィス系、中規模)ベンチマークレンジでは、「A1」となる二酸化炭素排出の少ないビルです。

ビルの環境性能の向上に向けた取組み

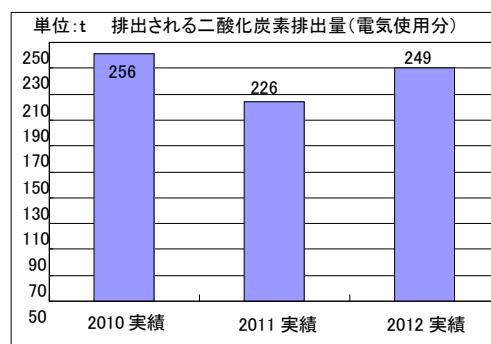
代々木プレイスビルにおける環境性能

代々木プレイスは、2007 年竣工という新しいビルであり、ビルの設計段階から環境に配慮した取組みを行ってきました。

外壁には硬質ウレタンフォーム等の断熱材や、窓面に熱反射ガラスやブラインドを設けることで日射侵入率の低減・断熱性能の向上を図り、空調設備にはインバータ機器やサーモ制御換気等を採用することによりエネルギーの効率利用を図っています。

こうした設備等の採用により、執務環境を損なわずに、当社の従来の平均的ビルより省エネルギー化を推し進めたオフィスビルを実現しています。

代々木プレイスでは、設計段階からビルの環境性能を高めただけでなく、運用段階においても、テナントサービスレベルを維持しながらの共用部の節電や専用部についても各テナントに節電方法等のパンフレットを作成・配布し、ビル全体で省エネルギーに取り組んでいます。



環境性能の向上に向けた取組み

東急不動産㈱では地球環境保全を重要な経営課題と位置づけており、2011年に東急不動産グループ「環境ビジョン」を制定し、次の5つの環境課題に取り組んでいます。

- ① CO₂削減
- ② 生物多様性保全
- ③ 水資源保全
- ④ 省資源
- ⑤ 健康配慮

さらにCO₂削減に向けた現状分析・エネルギー使用量の「見える化」を推進し、自発的かつ具体的な行動が取れるように、保有施設についてエネルギーデータの集計システムを導入しました。

また2010年には、当社の住宅・オフィスビルはじめ各事業のCO₂削減や緑化等の幅広い取り組みが評価され、当社はUNEP（国連環境計画）の特別協賛サポーターとして認められました。引き続き環境保全活動をサポートしていきます。

これらの取り組みにおいてさまざまなアクションを社会の皆さまと協働して行うことで、環境保全活動の一層の推進と継続をめざします。